

## 世界に広がる教会の中で

主任司祭 吉池 好高

「キリストの御からだと御血にともにあずかるわたしたちが聖霊によって一つに結ばれますように」。ミサはイエス・キリストの十字架の死と復活を記念する祭儀です。そして、イエス・キリストの十字架の死と復活を記念するこのミサの祭儀は、それにあずかるわたしたちをイエス・キリストの十字架の死と復活によってもたらされた救いにあずかる者たちとするのです。

ミサはこのようなものであることによって、信仰の神秘を表す祭儀であるのです。十字架の上に死んで、墓に葬られたイエスを復活させた全能の神の力が聖霊において示されているのです。イエスの死を前にした弟子たちの頑なな心を開いて、信じる者たちとしてくださり、新たな信仰によるいのちに立ち上がらせてくださった聖霊がわたしたちの心の扉を開いて、イエスを死者の中から復活させられた全能の父である神を信じる信仰をわたしたちにももたらしてくださいますように。

そのような信仰に結ばれて、わたしたちが一つに結ばれるとき、父と子と聖霊なる神を信じて生きるキリストの教会がこの地上に、今日も新たに誕生するのです。

復活の主イエス・キリストが「聖霊を受けなさい」と言われて、弟子たちの中に吹き入れてくださった新たないのちの火は、聖霊の降臨によってこの世界の人々の間に燃え広がって、世界に広がるキリストの教会を生み出しているのです。わたしたちが今日も集うミサは、聖霊によって世界中に広がり、聖霊によって一つに結ばれている教会の、そのことへの感謝の祭儀としてのミサなのです。

イエス・キリストご自身が選び出され、使徒とされた十二人の使徒たちとその中心に教会の礎として立てられたペトロの後継者たちは、時代の流れを超えて、現代世界に対して福音を宣伝える使命を帯びた教会の指導者なのです。叙階の秘跡を通して受け継がれているこの使命に今の教皇と司教たちがふさわしく応えることができるためには聖霊の助けが必要です。わたしたちはそのために祈らなければなりません。わたしたちは使徒たちの時代から受け継がれ、世界に広がっている教会と結ばれて、今日もミサをささげているのです。